

平成28年度 南砺市獅子舞調査回答結果

文化・世界遺産課

南砺市では平成27年度に「南砺市文化芸術振興基本計画」を策定し、文化芸術振興の方向性を決定した。そのなかで、主要課題として「文化の担い手・後継者の育成」「文化芸術の共通理解と価値共有」「文化創造基盤となる地域コミュニティの再構築」があげられ、それに対する新たな方向性の萌芽になるような取り組みを「南砺市文化芸術振興実施計画」に策定した。

平成28年度はその計画推進の一環として、市民にとって最も身近な伝統文化である獅子舞について形態や写真、保存団体などの詳細なデータを「地域資源」として収集し、アーカイブ化するとともに、地域の活力を把握することを目的として「獅子舞調査」を実施した。今回、提出された調査票の回答内容を第1次報告としてとりまとめた。

【調査方法及び経過】

調査は、市内の町内会自治会（354団体・別添1）と福野神明社に調査票を配布し、回答について集計を行った。

調査票は、獅子舞が存続している地区において獅子舞の保存会や若獅子会等が記入する**調査票1**、獅子舞が廃止・休止状態になっている地区において区長が記入する**調査票2**、地域の文化について区長が記入する**調査票3**（獅子舞の有無に関わらず全地区提出）を作成し（別添2）、平成28年9月下旬に各区長・行政推進員宛に配布した。加えて、町内会自治会ではないが、平成17年度に獅子舞実施調査で調査対象となっていた福野神明社に調査票1を配布した。

提出を平成28年11月30日まで、と依頼していたが、回収率が65%弱であったため、再度、未提出の地区宛に調査票を配布し、さらに電話連絡等行って提出を促した。

3月から7月の間、獅子舞調査の回答集計を行い、内容を取りまとめた。今後は団体への個別実地調査を随時行う予定である。なお、この調査は富山大学芸術文化学部と連携して実施しており、獅子舞の基本情報や文化資源情報の整理を行う予定である。

【調査票回収率】

調査票は、市内各地区への市報配布に合わせて配布することとし、対象の町内会自治会は市報配布行政区354団体に福野神明社を加え、355団体に配布した。

そのうち、298団体より回答の提出があった（このうち、北陸病院・東洋紡・サンコーポラス高瀬・雇用促進住宅・警察アパート・遊部住宅のぞみの6団体は「該当行事なし」での回答提出として取り扱った）。調査票回収率は84%である。

【調査結果の分析・集計方法】

提出された回答について集計を行い、グラフ化・数値化できる項目についてはデータ化し、処理を行った。なお、今回の調査結果は、各団体から提出された調査票の回答について、再調査等

は行わず、そのまま集計したものである。

調査結果の分析方法、活用方法は以下のとおりである。

①獅子舞の基本的情報について

現在、獅子舞を実施している、いないにかかわらず、祭礼の日・獅子・獅子取り・囃子の特徴などの基本的情報を取りまとめた。さらに、内容の公開可、との回答のあった団体分については、平成29～30年で作成予定の「南砺市文化芸術アーカイブズ」で公開する。今後、詳細調査や伝承の流れなどを分析し、最終的には獅子舞マップの作成を目指す。

②獅子舞保存団体の情報について

保存会の構成、練習期間、現在の抱える課題、それに対する工夫などの団体に関する情報についてはデータを集計し、現状把握の資料とする。それぞれの団体の情報として、文化・世界遺産課において管理する。

③意識調査結果について

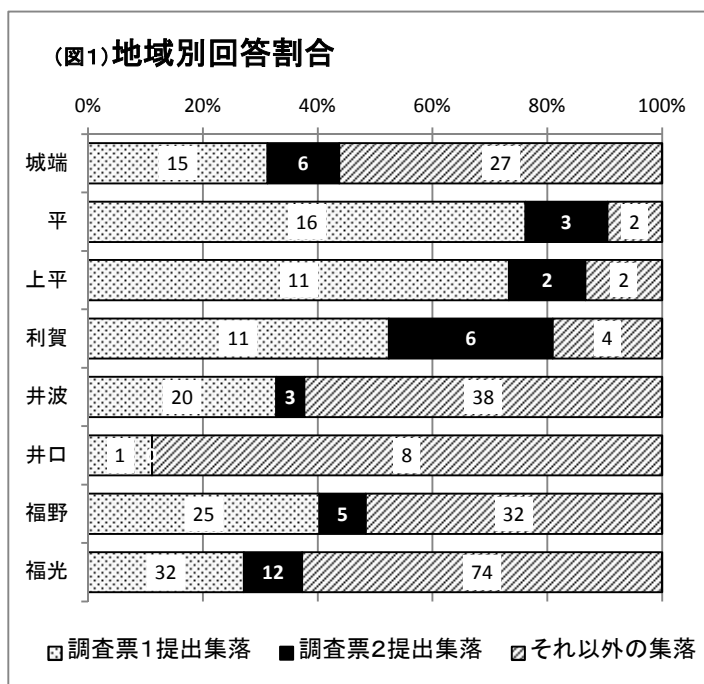
外部からの担い手の受け入れに対する意識、「獅子舞競演会」を開催した場合の参加の意志、獅子舞の観光資源化の可否に対する意識調査の結果は、グラフ化・数値化した上で公表する。また、個々の団体の情報として「南砺市文化芸術振興実施計画」内のさまざまな事業に活用し、獅子舞団体との連携を図る。

【調査結果（回答集計）】

（1）獅子舞実施状況

今回、調査票1～3の提出があった団体で、現在、獅子舞を実施しているところ（調査票1提出）は**131**あり、獅子舞実施団体数は**102**団体である。地区数と団体数の相違は、複数の地区で1つの獅子舞を実施していることから生じるものである。周辺の地区が合同で実施している場合（例：上平地区の新屋、真木、東赤尾、田下、菅沼の5地区で1つの獅子舞団体「五ヶ山獅子舞保存会」を組織）と、大きい地区のため町内会が分かれている場合（例：梅原安丸、梅原中筋、梅原上村、梅原出村、梅原白鷺の5地区で「梅原獅子舞」を実施）とがあり、後者の方が多い傾向である。また、数は少ないが、1つの地区で2団体が獅子舞を実施している場合（例：柴田屋地区は川東と川西の2団体が実施）もある。

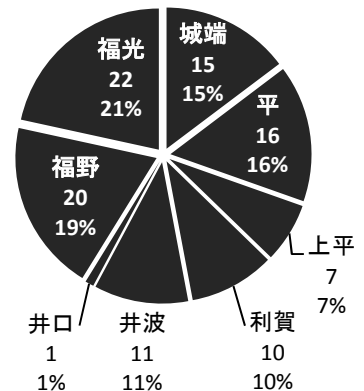
また、獅子舞が休止・廃止となっていて、



調査票 2 を提出された町内会自治会等は 31 地区あった。ただし、かつて獅子舞はあったが、廃止から年数が経過して詳細がわからず調査票 2 が記入できなかった地区もある可能性や、今回の調査では「元々、獅子舞がない」地区について把握するための選択項目がなかったことから、現在までにどのくらいの地区で獅子舞の伝承が途絶えているかについては、詳細なデータは得られなかった。

なお、実施団体数は、各地域で同じくらいの数が存在するが、各地域の町内会自治会等数における実施団体の割合をみると、平・上平地区で多いことがわかる（図 1・図 2）。

(図2)地域別実施団体数

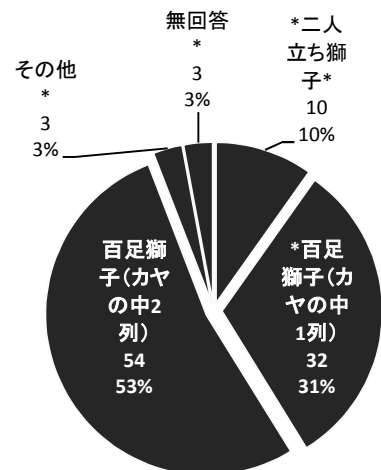


(2) 獅子舞の基本的情報について

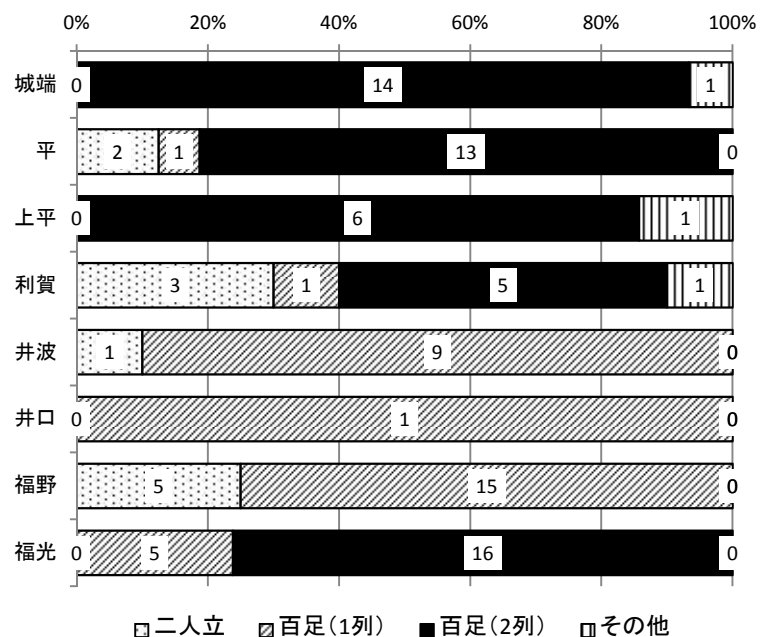
調査票 1・調査票 2 の獅子舞についての基本情報は、各町内会自治会の獅子舞実施団体等に記載していただいております。獅子取りの種類や採り物の種類、演目などはそれぞれの団体での呼称で記載されているため、多岐にわたっている。このため獅子舞の形態以外は統計的なデータにまとめるまでには至らなかったため、町内会自治会等ごとに帳票形式にまとめた。今後、アーカイブとして写真等も揃え、「公表可」の回答を得ている団体についてはホームページ等で公表する予定である。

これまで富山県では、獅子舞について度々調査が行われており、県内で伝承される獅子舞には、さまざまな形態がみられることが報告されているが、大分類として県東部に多い「二人立ち獅子」と県西部に多い「百足獅子」の 2 種類が示されている。獅子舞の獅子は獅子頭を操る「頭持ち」と胴幕(カヤ)を支える「獅子方」で構成されるが、二人立ち獅子はそれぞれ 1 名ずつの 2 名で構成され、百足獅子はカヤの中に獅子

(図3)獅子舞の形態



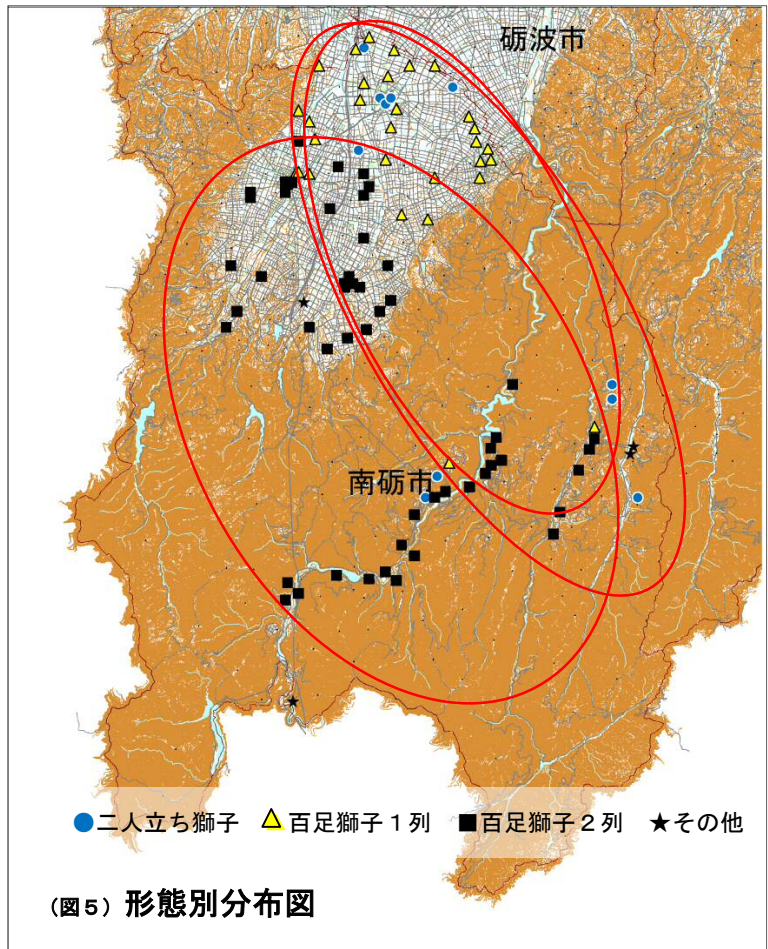
(図4)地域別獅子舞形態の割合



方が複数名入る。さらに、百足獅子の場合、カヤを張るために竹の輪を入れるものと入れずに手で張るものとあり、竹の輪を入れる場合、その輪の両端をそれぞれが持つ2列のものと、一人で持つ1列のものがある。

市内団体の実施形態は百足獅子が8割を超えており、カヤの中に竹の輪が入るものが大部分である。カヤの中は2列の割合が高いが、地域別にみると、福光・城端・平・上平地域は2列、井波・井口・福野地域は1列の割合が高い。また、二人立ち獅子は利賀地域に多く、平・井波・福野地域にみられる。形態の分布には地域的なまとまりがみてとれる（図3・図4・図5）。

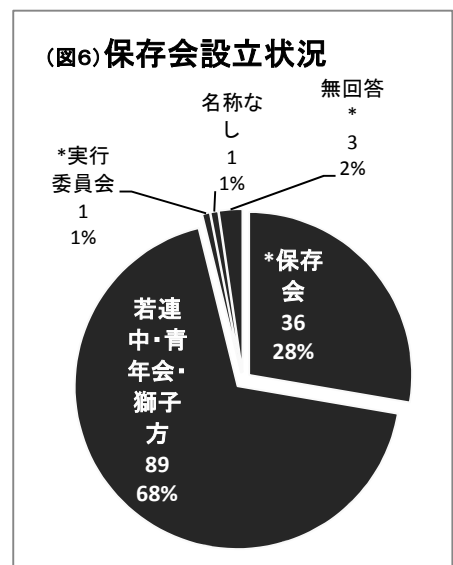
なお、通常はそれぞれの団体で1つの形態の獅子舞を継承しているが、福野地域の野尻古村地区のみ大獅子と子獅子を実施しており、大獅子は百足獅子（カヤの中1列）、子獅子は二人立ち獅子と、別の形態の獅子舞を継承している。「その他」を選択した団体では、二人立ち獅子が二つ並ぶ形態が1団体と、百足獅子でカヤの中が3列の形態が2団体あった。



(3) 獅子舞保存団体の情報について

各団体で獅子舞を担っているのは、多くは青年から壮年の年代の男性である。また、獅子取り役は子ども（男児）、という団体も多い。しかし、近年の少子高齢化や人口減少により、獅子舞の実施は困難な状況にあり、継承が危ぶまれている。今回、調査票1の提出があった131地区のうち「現在抱えている問題点・課題」に記載があったのは108地区で、そのほぼすべてが「人員不足・後継者不足・高齢化・子どもがいない」に集約することができた。

これに対して、獅子舞を担う集落内の人員について年齢の引き上げや範囲の拡大（OBや長男以外の参加）、転出した集落出身者への協力依頼、獅子取りや囃し方への女性参加、については大部分の地区で実施や検討がなされている。このほかにカヤ



の小型化等で実施のための人数を減らす、また、先進的な取り組みとして近隣集落への参加依頼や大学生への呼びかけを行うなど、それぞれ工夫をして継承に努めていることがみてとれた。

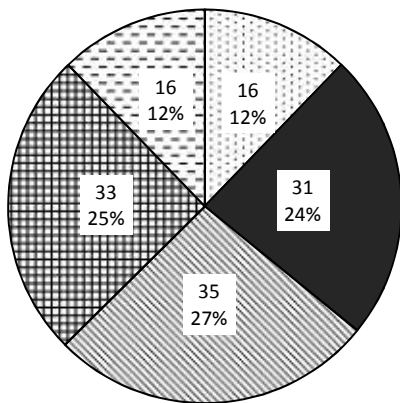
そのなかで、集落全体で継承に取り組む形として、保存会を組織している集落もみられた（図6）。若連中や青年団で実施している場合も、集落全体のバックアップを得て実施していることは間違いないが、今後、ますます少子高齢化が進み、青壮年の人員不足が進んだ場合、継承に取り組むうえで有効な手段と考えられる。

（４）意識調査結果について

今回の調査では、今後、当市が「南砺市文化芸術振興実施計画」に取り組むにあたり、各町内会自治会等が獅子舞の継承に対して、どのくらいの意識をもっているか、今後実施予定の「獅子舞競演会」への参加意志、獅子舞の観光資源（ブランド）化についても設問を設けた。

将来的に獅子舞の担い手や後継者が減少して継承が困難になった場合に、集落外の参加希望者を受け入れてでも継続するかどうかについて（図7）は、4割近くの集落が参加希望者を受け入れたい、との回答であった。その中でも1割強の集落は、自分たちで募集をしてでも参加希望者を募る、と強い継続の意志を示している。一方、あくまで集落内の担い手で行いたい、という意見も3割近くみられた。獅子舞は自分たちの行事、神事であり、地区内で継承できない場合は廃止もやむを得ない、という意識の現れと考えられる。あわせて、「その他」を選択した町内会自治会等には「（継続の意志はあるが）できれば集落に縁のある人を受け入れたい」という意見がみられ、集落外の参加者はぎ

（図7）将来、担い手不足になった際の継承に対する考えについて



- 自分たちから情報を発信してでも希望者を募り、獅子舞を継続させたい*
- 集落外の参加希望者がいるという情報があれば受け入れて、獅子舞を継続させたい*
- あくまで集落内の担い手で執り行いたいので外部からの担い手は受け入れない*
- その他*
- 無回答*

<その他 意見>

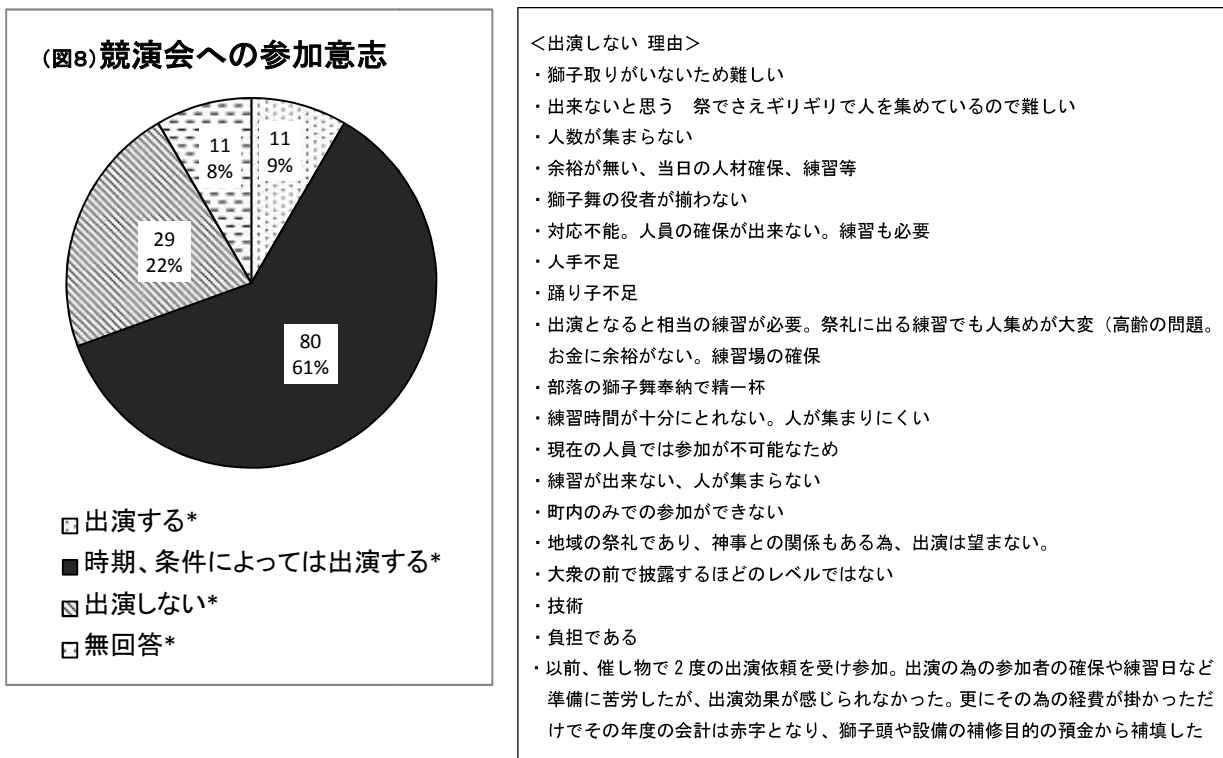
- ・知人、友人、集落出身者を募って行っている
- ・すでに受け入れをしている
- ・時間の余裕的・体力的に世話できる人、指導できる人が居れば継続したいが、先は読めない
- ・集落内及び集落ゆかりの者で獅子舞を存続させたい
- ・飛騨屋に縁のある人なら歓迎
- ・土生新の神社に奉納するので、土生新他地域からの募集も検討している
- ・村外へ出た出身者の子どもに依頼する等の意見がある
- ・担い手がいなくなればやめることもやむを得ない。集落出身者で協力する人がいれば受け入れたい
- ・出来ることであれば集落内の住民で継続させたいが、外からの応援も受け入れざるを得ないと思う
- ・人数は増やしたい思いはあるがそう簡単にできる踊りではないので、練習の関係上、新たに市外、県外から参加するのは難しいと思う
- ・市外、県外の人が多くなり町内の人だけでは、片づけ準備、まかないなど困難となる。市外、県外が多くなると厳しいと思う。
- ・保存会内での意見集約で決定
- ・自治会と相談
- ・存続について検討中で会員をふやすことに努力中
- ・未定
- ・まだ検討していない
- ・当面は担い手不足になることはないと考えため、受け入れは考えていない
- ・現在はなんとか人がいるので、いなくなった時に考える
- ・継承が途絶えることに無頓着な住民が多く、伝承を不安に感じている。

りぎりまで受け入れたくない、と考える集落が一定数存在することがみられた。さらに、「集落内での決議が必要」「現時点では回答不可能」という意見もあり、簡単に結論をだせない問題であることもわかった。また、「人数は増やしたい思いはあるがそう簡単にできる踊りではない」といった意見もあり、技術の習得も含めて集落外の参加希望者をどのように受け入れるかについて課題が感じられる。

しかし、その一方で「もう既に受け入れて実施している」という集落があり、モデルケースとして、状況や結果、手法等について詳細調査が必要である。

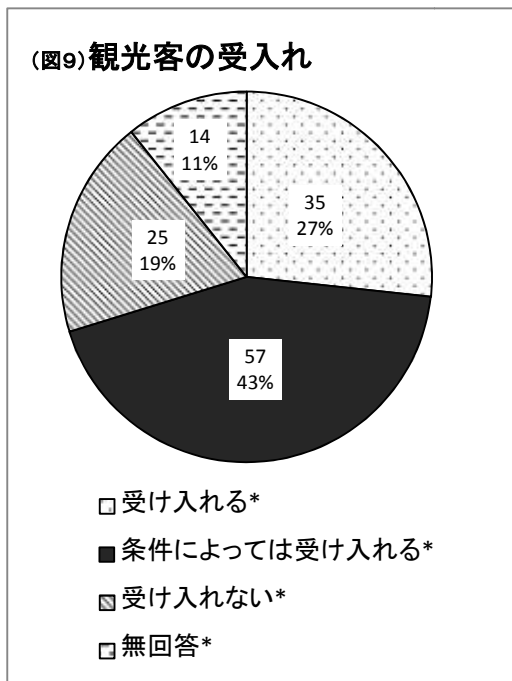
次に、獅子舞競演会への出演が可能かどうかについて（図8）は、「出演する」「時期、条件によっては出演する」が7割を占め、各集落での行事とは別に大衆の前での発表の場を設けて、モチベーションの向上を図りたいという意識の現れと考えられる。ただし、「時期や条件」については、「集落内での決議を得られれば」「予算面」「練習時間の確保」などをあげている町内会自治会等があり、参加の意志はあるが現実には難しい、と考えているようにも受け取れる。

一方「出演しない」という回答の理由については「祭りですら人集めが大変」「練習時間・練習場所が確保できない」「予算がない」といった通常の集落での祭りの実施で精一杯であること、獅子舞の練習や用具の調達にはそれなりの費用がかかることや祭りと同時期であれば練習時間がとれるが、競演会のために練習時間を確保するのは困難、といった意見が多くみられたほか、「神事のため一般に披露するものではない」「披露するレベルではない」という意見もみられた。



最後に、南砺市の観光資源として獅子舞を活用する場合に観光客を受け入れることができるかについて（図9）は、「受け入れる」「条件によっては受け入れる」が7割となった。この「条件」については回答を求めなかったため、どのようなことが考えられるかは、現段階では不明である。

「受け入れない」という回答の理由については「神事のため」「観光にはなじまない」という意見が多かった。次いで「人員不足」「見せられるレベルではない」などがあげられた。また、「設問の意味がわからない」という回答もあり、無回答を含め、獅子舞をどのように観光資源化するかについてイメージがわかかなかったと思われる。



いずれにしても受け入れできるという回答が多かったことから、今後、観光資源化を考えるにあたり、受け入れの「条件」を調査するとともに観光化のイメージを示していく必要がある。

<受け入れない 理由>

- ・ 人手不足
- ・ 対応不能。人員の確保ができない
- ・ 写真撮影等は良いと思うが、祭礼は元々奉納、神事であると思うため
- ・ 原則、神明宮に奉納するものであり見せ物ではない
- ・ 石武雄神社だけの祭礼であり、一軒一軒廻っていないため
- ・ 立派なものでない
- ・ 以前にくらべてうまくない
- ・ 大衆の前で披露するほどのレベルではない
- ・ そもそも観光にはなじまない。見てもおもしろくない
- ・ すぐにできるものではない。けが等した場合の責任が取れない

【参考文献】

- 昭和 54 年「富山県の獅子舞 ー富山県内獅子舞緊急調査報告書ー」富山県教育委員会ほか
 平成元年「井波の獅子舞」井波町教育委員会
 平成 2 年「福光町獅子舞調査」福光信用金庫
 平成 4 年「富山県の民俗芸能 ー富山県民俗芸能緊急調査報告書ー」富山県教育委員会
 平成 5 年「利賀村の獅子舞と獅子頭」利賀村史編纂室
 平成 14 年「富山県の祭り・行事 ー富山県祭り・行事調査報告書ー」富山県教育委員会文化財課
 平成 18 年「富山県の獅子舞芸能と祭礼 ー獅子の芸能と行事の現状ー」

富山県の獅子舞活性化マスタープラン研究委員会

城端地域 (48 団体)

出丸・東下・西下・西新田・西上・東上・大工町・東新田・城端新町・城端南町・野下・大宮野・川島・北陸病院・信末・是安・城端末広町・城端栄町・野田・金戸・国広・千福・野口・塔尾・上見・上原・西原・南原・京塚・大窪・細木・瀬戸・盛新・中尾・大谷島・大鋸屋・打尾・泉沢・林道・理休・藁谷・細野・西明・東西原・北野・長楽寺・次郎丸・吉松

平地地域 (21 団体)

下梨・大島・籠渡・下出・東中江・高草嶺・夏焼・平入谷・寿川・大崩島・祖山・杉尾・渡原・上松尾・小来栖・来栖・中畑・見座・相倉・上梨・田向

上平地地域 (15 団体)

成出・楮・真木・東赤尾・新屋・田下・菅沼・上平細島・小原・猪谷・皆葎・葎島・小瀬・漆谷・下島・西赤尾町

利賀地域 (21 団体)

大勘場・千束・阿別当・坂上・上畠・利賀細島・岩渕・利賀上村・利賀下村・大豆谷・北豆谷・高沼・上百瀬・中村・島地・利賀入谷・谷内・水無・栗当・下原・北原・長崎・栃原

井波地域 (61 団体)

八日町・上新町・井波中新町・下新町 1 区・下新町 2 区・下新町 3 区・山下・今町 1 区・今町 2 区・今町 3 区・今町 4 区・井波栄町・井波末広町・木崎野町・北新町・井波東町・北川・六日町・松島・藤橋・三日町・畑方・山見町並・五領島・上山見・下山見・京願町・東洋紡・院瀬見 1 区・院瀬見 2 区・院瀬見 3 区・院瀬見 4 区・東城寺・清玄寺・連代寺・志観寺・谷・戸板・里領・川原崎・沖・南山見新・坪野東部・坪野中部・坪野西部・山斐・岩屋・飛驒屋・野能原・井波軸屋・安室・清水明・高屋・専勝寺・神子畑・勸学院・大宮司・サンコーポラス高瀬・愛農・信農・三清東

井口地域 (9 団体)

井口・上広安・宮後・池尻・久保・池田・蛇喰・川上中・大野

福野地域 (61 団体)

御蔵町・上浦町・下浦町・四区町・松原本町・辰巳町・東横町・中横町・西横町・福野二日町・上町・七ッ屋・南町・駅前通り・西新町・東新町・野尻古村・野尻川原・本江・若竹町・上津・柴田屋・二日町・高儀・長源寺・川除新・岩武新・高堀・上野・野尻野・松原・年代・百町・苗島・焼野・福野軸屋・野新・三清西・森清・安清・江田・雨潜・野原・広安・田屋・石田・八塚・寺家・院林・布袋・森・三ツ屋・桐木・前田・晩田・梅ヶ島・下吉江・田尻・新邸・上川崎・安居

福光地域 (118 団体)

東町・観音町・中央通り・寺町・旭町・西町・神田町・荒町・中荒町・栄町・五宝町・本町・宮脇町・天神町・福光新町・東新町・味噌屋町・川原町・川西 (川合田)・川西 (定龍寺)・川西 (西勝寺)・法林寺・中ノ江・八幡・松木・和泉・岩木・岩安・砂子谷・人母・高窪・土山・能美・小又・湯谷・蔵原・開発・坂本・山本・小山・竹内・天神・雇用促進住宅・幸町・小坂・祖谷・館・才川七 一区・才川七 二区・才川七 三区・才川七 四区・野地・小院瀬見・小二又・広谷・糸谷新・香城寺・太美・吉見・綱掛・立野脇・樋瀬戸・七曲・嫁兼・道場原・土生新 下野・土生新 上野・土生新 経塚・土生新 立野・土生新 矢留・土生新 立野新・土生新 立美・土生新 北部市野沢・土生新 南部市野沢・殿・大西・土生・山田・赤坂・出村・縄蔵・天池・吉江野・竹林 西島・竹林 中筋・竹林 東島・竹林 北島・竹林 団子林・大塚・大塚柳堀・梅野・旭ヶ丘・宗守・鍛冶・徳成・利波河・東殿・高畠・神成・久戸・在房・梅原 安丸・梅原 中筋・梅原 上村・梅原 出村・梅原 白鷺・荒木・荒木町・角田町・角田・吉江中・遊部・田中・下野・一日市・高宮・小林・警察アパート・遊部住宅のぞみ

配布調査票

(別添2)

【調査票1】

調査票 1

この調査票は獅子舞保存会・若獅子会等が存続している地区において区長（行政推進員）が保存会等に記載を依頼してください。

平成28年度 南砺市獅子舞調査（保存会の方記入用：全5ページ）

1. 獅子舞に関する質問

① 獅子舞の名称（例：川原町の獅子舞、上型の獅子舞）

② 伝承（わかる範囲でご記入ください）
 (ア) いつ頃、どこから習ったか（例：江戸末期に氷見地方から）

(イ) いつ頃、どこへ教えたか

③ 獅子舞が奉納される神社の名称（または、獅子舞が行われる祭礼の名称）

④ 祭礼の日
 *過去に変更されていれば、いつ頃から変更し、それまではいつ行われていたかもご記入ください

⑤ 獅子の特徴
 (ア) 獅子頭の種類（該当するものに○をつけてください）
 雄獅子・雌獅子・その他（ ）・不明
 (イ) 胴着（カヤ）の中に入る人数（ ）人
 *過去に変更されていれば、それもご記入ください
 変更前（ ）人

1

調査票 1

(ウ) 獅子舞の形態（当てはまるものに○をつけてください）
 ・二人立ち獅子 ・百足獅子（カヤの中1列） ・百足獅子（カヤの中2列）
 ・その他 *下記に具体的に記載ください。例：二人立ち獅子が二つ並ぶ

(エ)（カヤ）につける竹等の輪（枠）の有無：有・無
 (オ) 獅子頭の数 保有する獅子頭の数（獅子頭 個）（練習用 個）
 (カ)（カヤ）の数（ ）枚
 (キ) 獅子舞の衣装の数（大人用 着）（獅子取り用 着）

⑥ 獅子取りの特徴
 (ア) 獅子取りの種類（獅子取り・キリコ、天狗・道化などの役割）を挙げてください。
 いない場合は、「なし」とご記入ください。

(イ) 採り物の種類（短棒、太刀、なぎなた、シデ、へび、キリコなどあるものすべて）を挙げてください。ない場合は「なし」とご記入ください。

⑦ 囃子の特徴
 (ア) 楽器（使う楽器に○をつけてください）：笛・太鼓・鉦・その他（ ）

⑧ 演目の名称
 (ア) 現在伝承されている演目の名称と内容を記載してください。（あるものすべて記載してください）

(イ) 現在、行われていない・なくなった演目（あれば挙げてください）

いつごろからか：

2

調査票 1

(ウ) 新しく作った・取り入れた演目（あれば挙げてください）

⑨ その他の役割（該当するものに○をつけてください）
 ・旗持ち・ハナ読み・会計・太鼓持ち・その他（ ）

2 保存会・若獅子会等の伝承団体について

① 団体名

② 代表者名

③ 代表者住所

④ 構成人数（大人・子供・男女）

大人：男性 人 大人：女性 人
 子ども：男性 人 子ども：女性 人

⑤ 現状
 (ア) 練習期間・回数（おおよそで構いません）

(イ) 問題点・課題

3

調査票 1

(ウ) 工夫

(オ) 将来的に担い手・後継者が減少し、獅子舞の存続が困難になった場合、集落外の参加希望者（市外・県外で獅子舞に参加したいという意思がある方）を受け入れても継続したいと考えていますか。
 *当てはまる回答に○をつけてください。

・自分たちから情報を発信してでも希望者を募り、獅子舞を継続させたい。
 ・集落外の参加希望者がいるという情報があれば受け入れて、獅子舞を継続させたい。
 ・あくまで集落内の担い手で執り行いたいので外部からの担い手は受け入れない。
 ・その他（ ）

⑥ 南砺市が各地域の獅子舞を一同に会した「南砺市獅子舞競演会」を開催した場合、貴団体の出演は可能ですか。（当てはまるものに○をつけてください）
 「出演しない」と回答された場合はその理由もご記入ください。
 ・出演する ・時期、条件によっては出演する
 ・出演しない
 （出演しない理由： ）

⑦ 獅子舞を南砺市の観光資源として活用する場合、貴団体の祭礼に観光客を受け入れることは可能ですか。（当てはまるものに○をつけてください）
 「受け入れない」と回答された場合はその理由もご記入ください。
 ・受け入れる ・条件によっては受け入れる
 ・受け入れない
 （受け入れない理由： ）

⑧ 映像・写真記録の有無について（当てはまるほうに○をつけてください）
 (ア) 映像記録 有・無（有の場合： ・ビデオ ・DVD ）
 (イ) 写真記録 有・無
 (ウ) それらの資料の提供について 可・不可

4

調査票 1

⑨ 南砺市では現在、市内の文化芸術情報を一元化し、市ホームページ等への掲載を想定してあります。今回のこの獅子舞調査に関する情報（獅子舞の名称、祭礼の月日、写真・動画等）を市ホームページで公開してもよろしいでしょうか。
可・不可

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。
*記入後は区長（行政推進員）にお渡しください。

(問い合わせ)
富山県南砺市城端 1046 富山県高岡市二上町 180
南砺市ブランド戦略部 富山大学芸術文化学部
文化・世界遺産課 今枝 地域資源研究会 島添
TEL 0763-23-2014 TEL 0766-25-9163

【調査票 2】

調査票 2

この調査票は現在、獅子舞保存会・若獅子会等が廃止・休止になっている地区において区長（行政推進員）が記載してください。

平成28年度 南砺市獅子舞調査
(区長・記入用：全3ページ)

*当地区にてかつて行われていた獅子舞について分かる範囲でご記入ください。

1. 獅子舞に関する質問

①獅子舞の名称（例：川原町の獅子舞、上梨の獅子舞）

[Blank box for name]

②伝承（わかる範囲でご記入ください）

(ア) いつ頃、どこから習ったか（例：江戸末期に氷見地方から）

[Blank box for (A)]

(イ) いつ頃、どこへ教えたか（あればご記入ください）

[Blank box for (I)]

③獅子舞が奉納される神社の名称（または、獅子舞が行われる祭礼の名称）

[Blank box for temple/ritual name]

④祭礼の日

*過去に変更されていれば、いつ頃から変更し、それまではいつ行われていたかもご記入ください

[Blank box for date]

調査票 2

⑤獅子の特徴

(ア) 獅子頭の種類（該当するものに○をつけてください）

雄獅子・雌獅子・その他（ ）・不明

(イ) 胴幕（カヤ）の中に入る人数（ ）人

(ウ) 獅子舞の形態（当てはまるものに○をつけてください）

・二人立ち獅子 ・百足獅子（カヤの中1列） ・百足獅子（カヤの中2列）

・その他 *下記に具体的に記載ください。例：二人立ち獅子が二つ並ぶ

[Blank box for (U) details]

(エ) (カヤ) につける竹等の輪（枠）の有無：有・無

(オ) 獅子頭の数 現在保有する獅子頭の数（獅子頭 個）（練習用 個）

(カ) (カヤ) の数（ 枚）

(キ) 獅子舞の衣装の数（大人用 着）（獅子取り用 着）

⑥獅子取りの特徴

(ア) 獅子取りの種類（獅子取り・キリコ、天狗・道化などの役割）を挙げてください。いない場合は「なし」とご記入ください。

[Blank box for (A) details]

(イ) 採り物の種類（短棒、太刀、なぎなた、シデ・へび、キリコなどあったものすべて）を挙げてください。なかった場合は「なし」とご記入ください。

[Blank box for (I) details]

⑦囃子の特徴

(ウ) 楽器（使う楽器に○をつけてください）：笛・太鼓・鉦・その他（ ）

⑧演目の名称

[Blank box for (8) details]

調査票 2

⑤その他の役割（該当するものに○をつけてください）

・旗持ち・ハナ読み・会計・太鼓持ち・その他（ ）

2 かつてあった保存会・若獅子会等団体について

① 団体名

② 廃止または休止の理由

③ 映像・写真記録の有無について（当てはまるものに○をつけてください）

(ア)映像記録 有・無（有の場合： ・ビデオ ・DVD ）

(イ)写真記録 有・無

(ウ)それらの資料の提供について 可・不可

④ 今後の展望（復活の可能性）

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

（問い合わせ）

富山県南砺市城端 1046 富山県高岡市二上町 180

南砺市ブランド戦略部 富山大学芸術文化学部

文化・世界遺産課 今枝 地域資源研究会 島添

TEL 0763-23-2014 TEL 0766-25-9163

3

【調査票 3】

調査票 3

（この調査票は獅子舞の有無に関わらず、全地区に提出を依頼しております）

***この調査票は区長がご記入ください**

各地区の文化に対する調査

文化に関する質問（各地区の区長が回答してください）

1 以下の行事の中で、現在、区内の町内・集落・家などで傳承されているものすべてに○を付けてください。

- ・獅子舞 ・夜高祭り ・曳山祭り
- ・報恩講 ・日待ち ・念仏講
- ・山の神祭り ・田の神祭り ・オーベッサマ（エビス）行事
- ・左義長 ・どんと焼き ・地藏祭
- ・小正月行事
- ・田植え祭り ・豊作祭り
- ・芋名月 ・豆名月 ・十日夜 ・大根の年取り ・つくりもん
- ・雛祭り ・端午の節句（鯉のぼり）
- ・ねつおくり ・虫おくり ・七夕
- ・彼岸の迎え火送り火 ・盆 ・ふかんど盆 ・精霊流し
- ・綱引き ・相撲 ・弓射
- ・豆占 ・粥占
- ・水神祭り ・雨乞い ・日乞い ・風除け
- ・誕生の祝い ・成人の祝い ・新婚の祝い ・年の祝い
- ・商人職人に関する祭り（ ）
- ・やらやら ・つりもの ・大神楽
- ・辻切り ・綱掛け ・注連切り ・勸請縄
- ・その他（ ）

2 上記の行事の中で、過去には行われていて、現在は行われていないものがあれば、分かる範囲でご記入ください

3 この調査票に回答していただいた方のお名前とご住所を記載ください。

①氏名 _____ ②住所 _____

記入後は各地域の行政センターへご提出ください。